

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日  
平成 31 年 4 月 1 日

事務事業名		マイナンバーカード交付事業			事業区分		担当	
					新規/継続	新規	事務事業No.	060304000973
					単独/補助	補助		030101
政策体系		政策体系上の位置付け			主要事業		所属課	市民課
総合計画の施策名		0603 時代に合った自治体運営			市長マニフェスト		グループ	市民G
政策名		06 みんなで築く自治のまちづくり			未来PJ事業			
施策名		03 時代に合った自治体運営			合併建設計画事業			
手段名		04 ④適確な市民サービスの提供と個人情報の保護			合併建設計画事業			
		財務会計上の位置付け			事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	02	03	01	02	00	戸籍住民基本台帳事業	
							単年度繰返し (年度~)	
							→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠		行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(番号法)						

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>マイナンバー(個人番号)を利用し行政運営の効率化また利便性の高い公平・公正な社会実現を目的とし、平成27年10月に地方公共団体システム機構(J-LIS)から住民登録者に個人番号の通知カードが送付された。通知カードはマイナンバーをお知らせする紙のカードで、一緒に同封されている「個人番号カード交付申請書」に記名押印し写真を貼付のうえ、J-LISへ送付すると、個人番号カード(写真つき)が送付され、申請者本人へ交付を行う。また、個人番号カードには、公的個人認証サービスの電子証明書として、署名用電子証明書及び利用者証明用電子証明書が標準搭載されている。 ※交付者本人の希望により電子証明書を発行しないことも可能である。 また、15歳未満の者又は成年被後見人に対しては、署名用電子証明書は原則として発行しない。(利用者証明用電子証明書のみ発行)</p>	<p>①J-LISから送付された個人番号カード受領、確認後、カード申請者へ交付通知書の送付を行う。 ②個人番号カード希望者が交付通知書を持参したら、申請者の本人確認を行い、通知カード回収、システムでの交付処理を行い、個人番号カードを交付する。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
①機構から送付されたマイナンバーカード受領 ②交付前処理後、希望者に交付通知書の送付 ③交付予約受付 ④本人確認後、通知カード回収、市民の暗証番号入力後、カード交付	マイナンバーカード交付枚数	枚	1,800.00	3,065.00	3,300.00	3,300.00	3,300.00
	15歳以下のマイナンバーカード交付数	枚	58.00	87.00	100.00	100.00	100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
桜川市に住民登録のある市民	桜川市住民基本台帳人口	人	42,643.00	41,840.00	41,240.00	40,640.00	40,040.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
マイナンバーカードを申請、交付される。	マイナンバーカード交付枚数/住民基本台帳人口	%	4.20	7.30	8.00	8.10	8.20
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(計画)	期間限定総投入量
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	2,370	2,969	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	0	131	0
		事業費計(A)	千円	7,877	11,174	12,444
		正規職員従事人数	人	9.00人	9.00人	9.00人

30年度事業費実績(千円)

30年度事業費実績(千円)		01年度事業費予算(千円)	
01 報酬	1,658	01 報酬	2,008
11 需用費	60	09 旅費	259
13 委託料	235	11 需用費	32
14 使用料及び賃借料	555	12 役務費	10
18 備品購入費	11	13 委託料	236
19 負担金補助及び交付金	8,655	14 使用料及び賃借料	555
		19 負担金補助及び交付金	9,344
		合計	11,174
		合計	12,444

(4) 当該年度の実施内容

01年度の事業内容	02年度の事業内容	03年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>		

事務事業名	マイナンバーカード交付事業	事務事業No.	60304000973	所属課	市民課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? ・1970年事務処理用統一個人コード検討・1999年住民票コード導入・2010年10月政府与党社会保障改革検討本部にて番号制導入検討・2011年6月30日「社会保障・税番号大綱」決定・2013年5月「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」(番号法)制定。「個人番号(マイナンバー)」を社会保障、税、災害対策の3分野で活用することでスムーズな申請、申告等が可能となり住民サービスの向上につながる。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? セキュリティは信用できるものなのか?市民は全員マイナンバーカードを申請しなくてはならないのか?等の質問がある。あくまでも希望ではあること、セキュリティには万全を期していることを伝えている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容
現状維持

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 写真付きの個人番号カードは公的な身分証明書として活用できる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 法定受託事務 個人番号カード、通知カード交付事業。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 様々な行政サービスの提供、疎明資料の添付の省略
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 行政手続きや電子証明書による電子申請や取引などに影響を及ぼす。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 法的受託事務のため、削減余地はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない マイナンバーカード関連事務は専門性の高い業務なので委託先も限られ、削減余地はない。臨時職員の配置も最小の人員で効果的に行われているので、人件費の削減も余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 住民登録があれば申請ができ、またカードを希望する者からの手数料は現在のところ無料であり公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) マイナンバーカード交付率は県内最下位である。しかし、2019年度7月からコンビニ交付が始まること、また市主催行事等でのマイナンバーカードのPRにより、なかなか交付率が上がらなかったが、徐々に交付率が増えている。今後は申請をしやすくする方法を考え、引き続きPR等を行いながら、業務を進めていきたいと思う。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(5) 改革,改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果																					
	成果優先度評価結果 ①																					
	コスト削減優先度評価結果 -																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>